

2023年度
愛知工科大学大学院工学研究科
博士前期課程

学 生 募 集 要 項

〔内部進学入試〕

〔自己推薦入試〕

〔一般入試〕

〔社会人入試〕



愛知工科大学大学院

2023 年度 愛知工科大学大学院工学研究科博士前期課程
入学試験日程

入学試験区分		出願期間	試験日	合格発表	入学手続
第1次募集	内部進学	9月23日(金) ∩ 9月30日(金)	書類審査	10月24日(月)	合格発表日 ∩ 11月11日(金)
	自己推薦		10月11日(火)		
	一般		【筆記】 15:30~16:30		
	社会人		【面接、プレゼン】 (個別に指定)		
第2次募集	内部進学	1月27日(金) ∩ 2月3日(金)	書類審査	2月20日(月)	合格発表日 ∩ 3月10日(金)
	自己推薦		2月14日(火)		
	一般		【筆記】 15:30~16:30		
	社会人		【面接、プレゼン】 (個別に指定)		

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

愛知工科大学大学院では、科学技術を通しての社会貢献や学問探求への強い意欲を有し、エンジニアとしての土台となる力（総合力、実践力）並びに先進的なモノづくりにつながる力（設計力、製作力）を身につけた次のような人を求めます。

1. システム工学分野の高度な研究開発に主体的に取り組もうとする人
2. 地域社会を支える科学技術の創造と発展に寄与する意欲のある人
3. 地球環境に配慮し、人間社会の持続的発展に寄与する研究開発をグローバルな視点から進めようとする人

I 募集人員

1. 募集専攻及び募集人員

専攻	募集人員
システム工学専攻	7名

※募集人員には学内進学入学試験による募集人員も含まれます。

II 出願資格

内部進学入学試験

次のすべての条件を満たす者

- ①本学を2023年3月卒業見込みの者
- ②GPAが3.00以上の者。
- ③指導教員の推薦書を提出できる者で、合格した場合には入学を確約できる者

自己推薦入学試験

次の①～③のいずれかに該当し、④⑤の条件を満たす者

- ①日本の大学を2023年3月卒業見込みの者
- ②大学評価・学位授与機構により2023年3月までに学士の学位授与見込みの者
- ③本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に22歳に達した者※
- ④GPAが2.50以上の者
- ⑤本学への入学を強く希望し、合格した場合には入学を確約できる者

※出願資格③により出願する者は、後述のIII 出願資格審査の記載事項をご覧ください。

一般入学試験

次のいずれかに該当する者または次のいずれかの資格を2023年3月末日までに取得する見込みのある者

- ①大学を卒業した者
- ②大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者
- ⑤我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者
- ⑥外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦指定された専修学校の専門課程を修了した者
- ⑧旧制学校等を修了した者
- ⑨防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者
- ⑩本研究科において、個別の入学資格審査により認められた22歳以上の者※

※出願資格⑩により出願する者は、後述の「Ⅲ 出願資格審査」の記載事項をご覧ください。

社会人入学試験

社会人の経験を有する者で、一般入学試験の出願資格を満たす者。ただし、入学後も引き続き所属企業等に勤務する者は、受験について所属長の承諾を得ることができる者。

Ⅲ 出願資格審査

一般入学試験の出願資格⑩による入学資格審査の申請は、以下のとおりです。

1. 出願資格認定審査の申請期間

【自己推薦、一般、社会人】入学試験

第1次募集 2022年9月9日（金）～9月16日（金）まで

第2次募集 2023年1月13日（金）～1月20日（金）まで

2. 出願書類

審査を受ける者は、「Ⅳ 出願手続 2. 出願書類」に加えて、次の書類を提出してください。
ただし、入学検定料は出願が認められてから納付することとなります。

- (1) 出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- (2) 研究業績概要（本学所定の用紙）
- (3) 出身学校の概要・カリキュラム等教育課程が明らかになる資料（外国人留学生のみ）

注）出願資格認定審査調書の各事項にかかる証明書等を添付してください。

（例：大学等の在学期間がある場合は成績証明書を添付）

3. 出願資格認定審査結果発表

出願資格審査の結果は、書類を受け取った日から出願受付開始日までに本人宛連絡します。

4. 出願手続

出願資格を認められた者は、『Ⅳ 出願手続』に基づき入学検定料の振り込みを行ない、取扱銀行収納印欄に押印した「受験票・写真票」を本学に提出してください。提出の際、中央（本学で切り取ります）の位置で折り曲げることは構いません。

5. その他

- ・審査等書類の提出期限に遅れた場合は、審査等書類は受理しません。
- ・不明な点は、学務部学務課まで連絡願います。

IV 出願手続

1. 出願期間

入 試 区 分	出 願 期 間
内 部 進 学	【第1次募集】
自 己 推 薦	2022年9月23日（金）～9月30日（金）
一 般	【第2次募集】
社 会 人	2023年1月27日（金）～2月 3日（金）

2. 出願書類

出願書類等	備 考
1 入学願書	本学所定用紙（様式1）
2 受験票・写真票	本学所定用紙（様式2）
3 【内部進学入試のみ】 学内進学推薦書	本学所定用紙（様式3）
4 【自己推薦入試のみ】 自己推薦書	本学所定用紙（様式4） これまでに身に付けた力などでの自己アピールとなる事柄を記述してください。 パソコン等で作成したものを貼り付けても構いません。
5 【社会人入試のみ】 受験承認・推薦書	本学所定用紙（様式5）当該所属長が作成したもの。 ただし、社会人以外は提出を要しません。
6 研究（希望）計画書	本学所定用紙（様式6） 内容は、以下の項目を記述してください。 ① この分野で修得したいこと、及び研究したいこと ② 過去のこの分野での経験 パソコン等で作成したものを貼り付けても構いません。
7 卒業（見込）証明書	出身大学長、学部長又は高等専門学校長が作成したもの。 日本語又は英語以外で作成されたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。ただし、本学工学部の既卒者および卒業見込者は提出不要です。
8 学業成績証明書	出身大学長、学部長又は高等専門学校長が作成したもの。 大学に編入学した場合又は、短期大学・高等専門学校専攻科に進学した場合は、前学校（大学、短期大学、高等専門学校本科）の成績証明書も併せて提出してください。

		日本語又は英語以外で作成されたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。ただし、本学工学部の既卒者および卒業見込者は提出不要です。
9	【私費外国人留学生のみ】 住民票又は在留カード (写)	日本に在留する外国人は、在留カード(表・裏)写しを、それ以外の外国人にあつてはパスポート(国籍がわかる箇所)のコピーを提出。
10	【出願資格②該当者のみ】 学士の学位授与証明書又は学位授与申請書受理証明書	大学評価・学位授与機構において学位を授与された者は「学位授与証明書」、学位を授与される見込みの者は「学位授与申請受理証明書」を提出してください。
11	入学検定料	35,000円 入学検定料は、本学所定用紙(様式2)の「振込依頼書」により、金融機関窓口(ATMは利用できません。)からの振込によって納入してください。 ただし、電波学園または名古屋学園の設置校を卒業または中途退学し引き続き本学へ入学する者は免除します。

※注意事項

- ・ 出願に先立ち、希望する分野・領域の指導教員との相談が必要です。指導教員との相談に際しては、下記の愛知工科大学学務部学務課に問い合わせてください。
- ・ 提出後、出願書類等の返還及び記入事項の変更は、認めません。
- ・ 既納の検定料は、返還しません。
- ・ 出願書類に虚偽の記載事項が判明した場合は、入学後でも入学を取消すことがあります。

3. 出願書類の提出

出願書類は一括して封筒に入れ、本学学務部学務課へ持参又は郵送で提出してください。

【持参する場合】

- ・ 窓口の受付時間は、9時～17時(土曜日、日曜日及び祝日を除く)までです。

<p>提出先・問い合わせ先</p> <p>〒443-0047 愛知県蒲郡市西迫町馬乗50-2</p> <p>愛知工科大学学務部学務課 電話 0533-95-1131</p>

V 試験について

1. 試験日時

入試区分	試験日	試験時間等
内部進学	試験を課しません	・一般入試の筆記試験時間 15:30～16:30 ・面接の時間は受験票の送付 にあわせて個別に指定
自己推薦	【第1次募集】 2022年10月11日(火)	
一般	【第2次募集】	
社会人	2023年2月14日(火)	

2. 選考方法

内部進学入学試験

書類審査により合否を判定します。

- ・書類審査は、送付書類（学内進学推薦書、入学願書、研究（希望）計画書、卒業（見込）証明書、学業成績証明書）を審査します。

自己推薦入学試験

書類審査、プレゼンテーション、面接により、総合的に合否を判定します。

- ・書類審査は、送付書類（入学願書、自己推薦書、研究（希望）計画書、卒業（見込）証明書、学業成績証明書）を審査します。
- ・プレゼンテーションは、自己紹介・卒業研究の内容説明・大学院での研究計画等について、パワーポイントを活用し、5～10分程度で説明していただきます。パソコンは本学で用意しますので、データをUSBにて持参してください。
なお、別の形式での発表については、事前にご相談ください。
- ・面接は、プレゼンテーションや研究（希望）計画書等に基づき、30分程度実施し、審査します。

一般入学試験

書類審査、筆記試験、面接により、総合的に合否を判定します。

- ・書類審査は、送付書類（入学願書、研究（希望）計画書、卒業（見込）証明書、学業成績証明書）を審査します。
- ・筆記試験は、下記の各分野から2科目ずつ出題。6科目から2科目を選択し、解答する。
（機械分野）熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学
（電気電子分野）電気回路、電子回路、制御工学
（情報分野）プログラミング（C言語）、計算機ハードウェア・ソフトウェア

- ・面接は、研究（希望）計画書等に基づき、30分程度実施し、審査します。

試験時間中の持込みについて

試験時間中、机に置ける物は、受験票、黒鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、時計、ハンカチ、ティッシュペーパー、目薬、シャープペンシルです。

時計として、スマートフォン（携帯電話含む）等の使用は認めません。

社会人入学試験

書類審査と面接により、総合的に可否を判定します。

- ・書類審査は、送付書類（入学願書、研究（希望）計画書、卒業証明書、学業成績証明書）を審査します。
- ・面接は、研究（希望）計画書等に基づき、30分程度実施し、審査します。

VI 合格発表

入 試 区 分	合否通知発送日
内 部 進 学	【第1次募集】 2022年10月24日（月）
自 己 推 薦	
一 般	【第2次募集】 2023年 2月20日（月）
社 会 人	

- ・合否の結果は、本人宛郵便にて発送します。

VII 入学手続

1. 入学手続期限

入 試 区 分	入学手続期限
内 部 進 学	【第1次募集】 合格発表日～2022年11月11日（金）
自 己 推 薦	
一 般	【第2次募集】 合格発表日～2023年 3月10日（金）
社 会 人	

・入学手続に必要な書類は、合格通知書に同封して発送しますので、入学手続期限内に手続きを行なってください。

2. 入学手続時に必要な経費

	金額（単位：円）	備 考
入 学 金	150,000	電波学園／名古屋学園の設置校を卒業または中途退学し引き続き本学へ入学する者は免除／減額の対象となります。
授 業 料（前期分）第1年次生	250,000	
教育充実費（前期分）	75,000	
施 設 費（前期分）	50,000	
行事費・保険料等（年額）	30,000	
合 計	555,000	

（注1）納入された入学金についてはお返しできませんのでご注意ください。

3. 入学辞退について

- ①入学手続期間内に手続きがない場合は、入学の意思がなく、入学を辞退したものとみなします。
- ②入学手続き完了者が入学辞退を申し出る場合は、3月31日の午後5時までに連絡してください。この場合には、入学金を除く授業料等を返金します。

VIII 学生支援

1. 授業料免除制度

経済的理由によって授業料の納付が困難な場合、やむを得ない事情によって授業料の納付が困難であると認められる場合は、本学の定める要件や基準を満たすことで、審査のうえ、

その期の授業料の半額を免除します。

2. 日本学生支援機構大学院奨学金

第一種（無利子）5万、8.8万円より選択

第二種（有利子）5万、8万、10万、13万円、15万円より選択

※必ず採用されるとは限りません。貸与期間は、採用年度から標準修業年限までです。

3. TA（ティーチング・アシスタント）制度

本制度は、博士前期課程に在学する大学院生が授業の教育的補助業務を行うことにより、工学部学生等に対してより高い教育効果を上げるとともに、博士前期課程在学中にTAを経験することによって、教育・研究の指導者となるためのトレーニング、そして経済的支援を受けることを目的とした制度です。

Ⅸ 個人情報の取り扱いについて

出願時および入学手続き時に提出された氏名・住所・連絡先・その他の個人情報につきましては、愛知工科大学大学院において責任を持って厳重に管理いたします。

利用につきましては、次のとおりその目的の取り扱いに従って利用することとし、運用については外部に漏れることのないよう厳格に行うこととします。

- ① 教育研究指導上、必要な事項に利用
- ② 学生生活指導上、必要な事項に利用
- ③ 進路・就職指導上、必要な事項に利用
- ④ 保証人等との必要な事項に利用

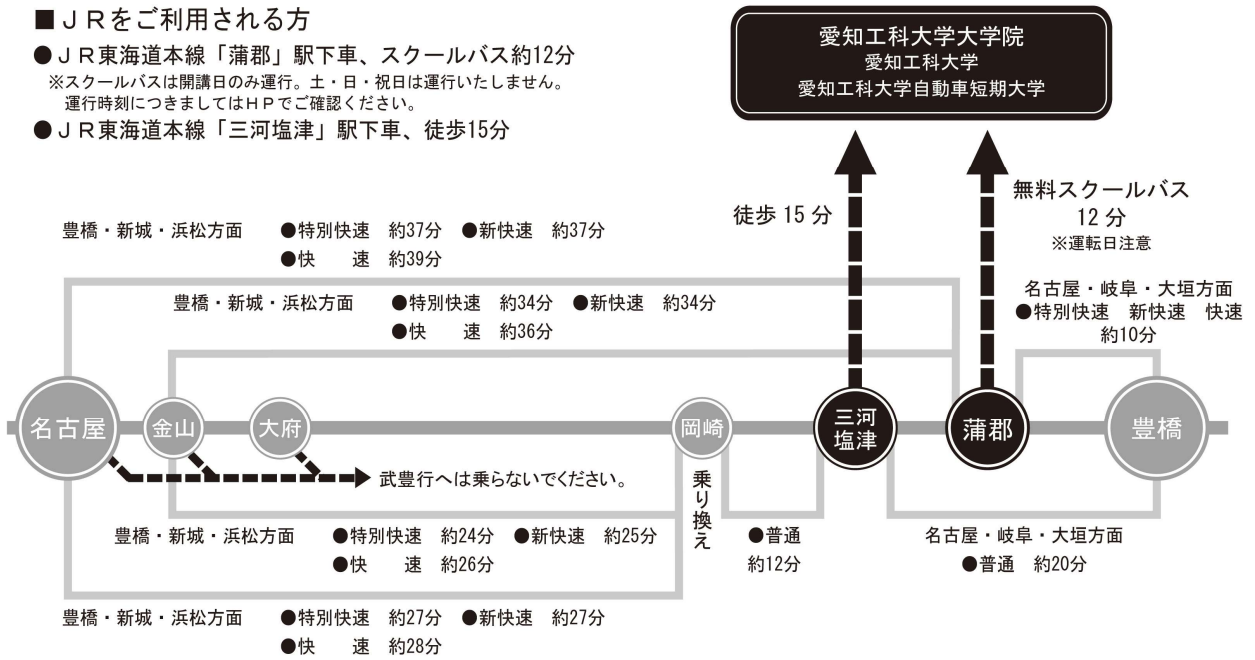
なお、個人情報を第三者へ提供する場合は、以下の場合に限って提供いたします。その際も、次の目的の取扱いに従い、運用については外部に漏れることのないよう厳格に行います。

- ① インターンシップ受講生となった場合、当該受入機関への個人情報の提供
- ② 学内で急病となって医療機関に搬入された場合、その医療関係者への個人情報の提供
- ③ 学外研究機関にて研究活動を行う場合、当該受入機関への個人情報の提供
- ④ 学生個人成績の保証人への郵送通知
- ⑤ 修了時に同窓会組織への情報提供
- ⑥ 授業・課外活動・各種行事における写真類の本学広報物・本学ホームページへの掲載（個人が特定できるものについては、改めて本人の了解を得ることとします。）

愛知工科大学大学院へのアクセス

■ JRをご利用される方

- JR東海道本線「蒲郡」駅下車、スクールバス約12分
※スクールバスは開講日のみ運行。土・日・祝日は運行いたしません。
運行時刻につきましてはHPでご確認ください。
- JR東海道本線「三河塩津」駅下車、徒歩15分



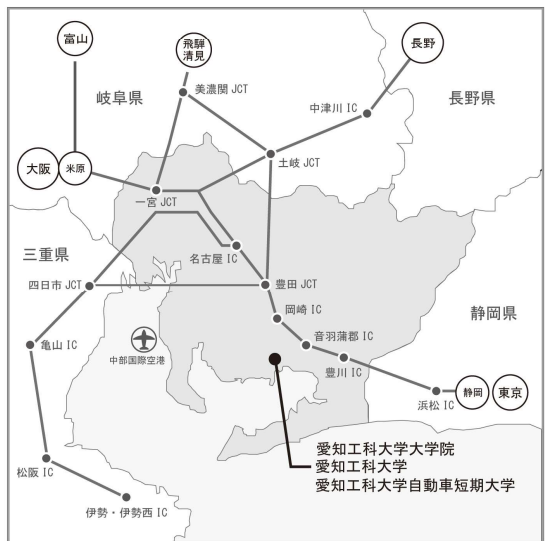
■ 最寄り駅からのご案内

- ① JR東海道本線「三河塩津」駅下車
名鉄蒲郡線「蒲郡競艇場前」駅下車
- ② 「三河塩津」駅「蒲郡競艇場前」駅北口から直進。
- ③ 突き当りを右折し、薬局を左折。
- ④ 塩津小学校西側を直進し、サークルKを右手に見て左折。
- ⑤ 「野川」の交差点で北側へ渡り、左方向へ直進。



■ 自動車をご利用される方

- 東名高速道路「音羽蒲郡IC」下車
音羽蒲郡道路(有料)経由
↓
県道383号線 約25分 (13km)
- 東名高速道路「岡崎IC」下車
国道26号線
↓
国道248号線
↓
県道383号線 約35分 (18km)



別 記

2023年度愛知工科大学大学院工学研究科博士前期課程

担 当 教 員 一 覧

システム工学専攻

授 業 科 目 〔専門分野〕	職 名	指 導 教 員 名	研 究 課 題
流体工学特論 〔流体力学〕 〔数値流体力学〕 〔流体計測〕	教授	石原 裕二	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空気抵抗や揚力など自動車空力に関する研究 ・ プラズマアクチュエータを用いた流れの制御 ・ 計算流体力学（CFD）を用いた流れの解析
機械力学特論 〔機械力学〕 〔振動学〕	教授	村上 新	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダイナミックダンパーの非線形振動特性 ・ 磁気浮上回転体の安定性解析 ・ 柔軟構造物の高速制振位置決め制御 ・ 楽器の発音機構による音響特性の変化
表面工学特論 〔表面工学〕 〔プラズマ工学〕	教授	松浦 寛	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナノ・マイクロ技術を利用した新しい表面活性法の開発 ・ 大気圧プラズマを利用した表面処理および表面解析 ・ 高周波を利用した物性解析およびセンシング技法の開発
〔電気化学〕 〔材料化学〕 〔応用光学〕	教授	近藤 敏彰	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塑性加工法にもとづく合金系ナノワイヤー形成技術の開発 ・ ナノ集光デバイスの形成と極微光化学反応場の構築 ・ 金属ナノ構造配列の水素生成系への適用
〔知能ロボティクス〕 〔制御工学〕 〔画像処理〕 〔機械学習〕	准教授	栗田 寛樹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自律走行車両の制御技術に関する研究 ・ 屋外環境における自己位置推定手法の研究 ・ ヒューマン・ロボットインタラクションの研究
〔材料力学〕 〔計算力学〕 〔破壊力学〕 〔全視野ひずみ計測〕 〔深層学習〕	准教授	豊吉 巧也	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験による計測手法などの開発およびその高度化に関する研究 ・ 数値シミュレーションによる破壊現象の解明に関する研究 ・ 実験、数値シミュレーション、深層学習技術の融合に関する研究
環境システム特論 〔化学工学〕 〔環境工学〕 〔食品成分化学〕	講師	渡部 吉規	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糖質分解酵素に関する研究 ・ バイオマス資源の有効利用 ・ クリーンエネルギーの創出

〔制御工学〕 〔通信ネットワーク〕	助教	阿部 己和	・IoT 技術および制御理論を用いた車いすの事故低減
〔加工学〕 〔設計工学〕 〔生産工学〕 〔環境学〕 〔教育学〕	教授	加藤 亨	・塑性加工と接合に関する研究 ・工学教育とリベラルアーツに関する研究
パワーエレクトロニクス特論 〔パワーエレクトロニクス〕 〔ロボティクス〕 〔メカトロニクス〕 〔医用システム〕	教授	永野 佳孝	・手術ロボット ・手術シミュレータ ・医療画像支援システム ・VR システム
センサ工学特論 AI 特論 〔知能ロボット〕 〔機械学習〕 〔画像認識〕 〔離散・連続混合システム〕	教授	舘山 武史	・機械学習のロボット・情報システムなどへの応用 ・深層学習を用いた画像認識の応用 ・離散・連続混合システムのシミュレーション
メカトロニクス・ロボティクス特論 〔福祉ロボット〕 〔ロボットインターフェイス〕	准教授	裴 艶 玲	・リハビリアシストロボットに関する研究 ・Human Robot Interface に関する研究
センサ工学特論 生体医工学特論 〔ナノテクノロジー〕 〔磁性材料〕 〔センサ工学〕 〔医用システム〕	助教	田中 俊行	・ナノ粒子を利用した体外診断システムの開発 ・疾患マーカーの迅速・高感度・同時多項目測定法の開発
情報システム特論 〔機械学習〕 〔画像処理・認識〕 〔生体情報処理モデル〕	教授	岡島 健治	・顔画像検出に関する研究 ・画像診断支援システムに関する研究 ・脳の視覚情報処理モデルに関する研究
メディアデザイン特論 〔経営情報〕 〔インターネットマーケティング〕	教授	加藤 高明	・地域活性化および社会に貢献するデジタルコンテンツの制作

<p>音声情報処理特論</p> <p>[音 声 情 報 処 理]</p>	<p>教授</p>	<p>實 廣 貴 敏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声認識技術を軸とした音声対話システムに関連する技術の研究 ・ 音声認識の前処理としての雑音抑圧手法、音声認識精度の向上、新たな音声対話システムの提案 ・ 音楽アプリ提案 ・ 車などの警笛音認識や走行音認識とその応用
<p>ヒューマンインタフェース特論</p> <p>[バーチャルリアリティ]</p> <p>[ヒューマンインタフェース]</p> <p>[超臨場感コミュニケーション]</p> <p>[高 性 能 計 算]</p>	<p>教授</p>	<p>田 川 和 義</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク型手術訓練システムの研究開発 ・ 臓器異形バリエーションのモデリング ・ 軟組織・布地の実時間変形モデル ・ 実対象物の計測に基づく動的変形特性の記録と再生 ・ 多視点ディスプレイ
<p>ヒューマンインタフェース特論</p> <p>[バーチャルリアリティ]</p> <p>[ヒューマンインタフェース]</p> <p>[多 感 覚 情 報 処 理]</p> <p>[交通安全ヒューマンファクター]</p>	<p>教授</p>	<p>山 高 正 烈</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聴覚に学ぶ災害関連インフラサウンドの高効率情報センシング ・ 音声構造再構築による「聞こえる」屋外拡声システムの実現 ・ 自己運動中の音空間知覚における空間非対称性
<p>AI特論</p> <p>[知 能 情 報 処 理]</p> <p>[情 報 シ ス テ ム]</p> <p>[知 能 シ ス テ ム]</p> <p>[ロ ボ ッ ト] [HCI]</p>	<p>准教授</p>	<p>加 藤 央 昌</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光支援のためのルート提供システムの検討 ・ モーションデータの再利用性向上のためのロボットモーション実行基盤の機能拡張

